NIXINAMO
DAYS
2008
WINTER
FOR ADULT
ONLY

ネコキノとは——
ネコとキノコの融合体——
着脱可能なフード状の傘と
ネコミミとしっぽを持つ
力は弱いがそれらの可愛らしい外見は
成人男性寄主からエネルギーを吸収することに役立つ
そう——
NEKOKINO

こういう話である
ご主人様っ♡凄いよぉっ
MADOKA
マドカ

そんなにされたら
ボクダメになっちゃう♡

ダメぇっ♡そこくりくりされたらボク真っ白になっちゃう♡
はひゃぁ♡
もうダメぇぇっ♡
ひゃっ♡
あっ♡
あんっ♡

射精してっ♡
ご主人様の精液ボクの中にくらひゃいっ♡
やあぁっ♡ボクイっちゃう♡
イっちゃうよぉっ♡

えへへ♡
マドカの中
ご主人様の
あったかいので
はぁ♡
はぁ♡
いっぱい
です♡
ぴくっ
ぴくっ
トポ
ゴポ
ゴポ
とろ〜っ

NIXINAMO DAYS

2008 WINTER

ハロゲン（ハローお元気ですかの略）にびなも凸面体です。

NIXINAMO:DAYSは原稿合間の時間で、最近描いたものを振り返って反省したり補足したり愛で足りないキャラをイラストとかちょっとした漫画で描いみる（あとは没復活や実験）というコンセプト、今回2冊目になります。

まず前回07についてごめんなさい。印刷所の方で修正を入れ直すということでデータ原稿をプリント→加工→スキャンという工程を取ったようで、まるで粗悪なコピーを繰り返したような仕上がりでした。元々がラフな鉛筆絵でしたが、その過程を経なかった1頁だけ綺麗でしたね（加工の無い他の頁もプリントスキャンされてるので、この頁に関しては手違いでそのままになったらしいです）。

ともかく自分の手落ちでのことなので、本当にすみませんでした。（当日コピー本扱いで頒布したとはいえ）

前置きが長くなってしまいましたが、今年も終わりということで2008年を振り返っていこうと思います。今年は、

・前半【1月～7月】
表紙・裏表紙（ゼロエクス）

・後半【7月～12月】
ネコキノ連載（ペンギンクラブ）

と合間にエリカ（スレイブヒロインズ）を2本描かせて戴きました。

読み飛ばし用まとめページ

表紙のこと

まず最初に雑誌表紙のお仕事から振り返ってみます。

元々がCG描きなのでカラーを描くのは好きなのですが、表紙を描く大役を戴くことになりまして。ですが実績が無いということは絵を描く上で『描くことに携わらせてもらえない領域』が増えることに帰結します。表紙を見てくれた方に「自分の絵っぽくない」と指摘されていたことへの説明はしておかないといけないとずっと思っていたのでそのあたりの、自分の手元に来る時には決定事項の事を。

例えば【構図】、シチュエーションありきで女の子に手が届く距離で俯瞰で、という指定だったりすると相応のパースの掛かった構図しか取れないわけで、しかもその手の構図で表現できることはとても限られたりするのであまり安易に使いたくないのです。とある俯瞰構図を描いているときは「専門学校のパンフ」だったらアリな構図だな、と自嘲したりもしましたっけ。

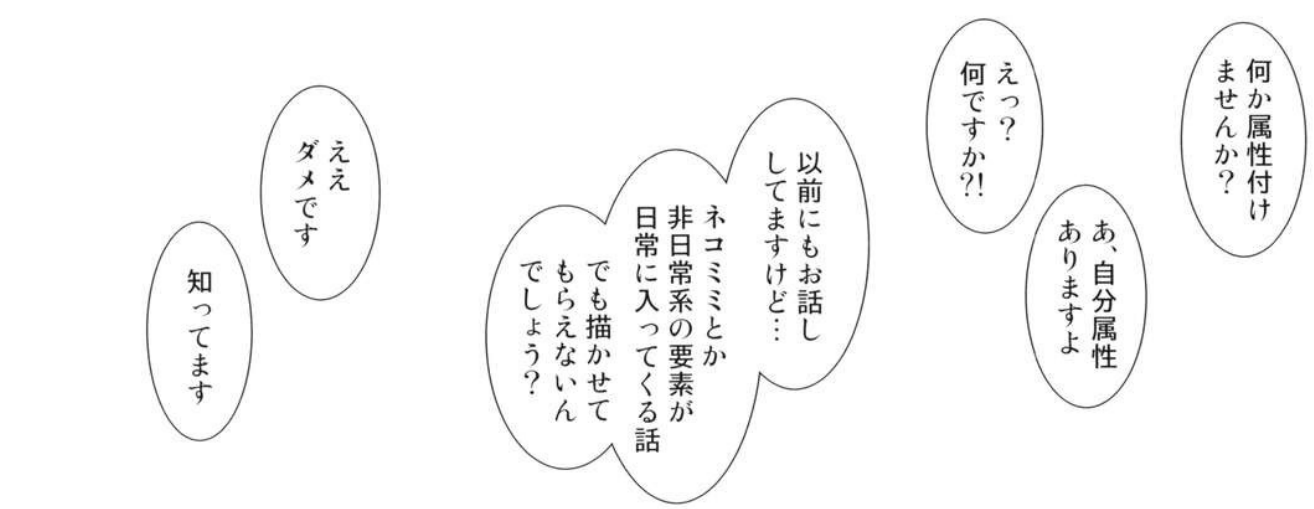
【陰影】、折角の雨合羽の指定だと思ったらフードは顔に陰を作るから厳禁で…と言われると雨合羽の何を絵の魅力として伝えたいのかなと思ったりで、その魅力を描くためにあるべき設定が重荷にばかり感じることもありました。合羽の色も女性色以外で、とか。○塾と言われたから描いたら、ネタは困ると言われて、それはそうだろうと思いつつも何でそう指定したのかとか。構図も陰影も自分にとっては描くことの重要な一部なので、それを決定するということは描き始めるということだから、絵の方向性や目的地である見る側に伝えることがあると期待されるのです。それが特に無いとのことなので、その続きを描くのに困惑してしまっていました。困惑と書きましたが、最初に断っていますとおり、そういった絵の『描く根幹に携われない』状況は偏に自分が『どんな絵を描くのか』『読者にどんな絵を期待させるのか』という実績が無い為で、編集部には迷惑を掛けて申し訳ない思いでいたのです。それでも、見た人に何がしたいのかわからないと言われるのが何より辛かったです。当然なんですよね、描いている自分もその絵のコンセプトが何なのか掴むことが出来なかったのですから。自分の『描いた領域』は線を引くことと色を塗ることだけです。色については指定される構図や設計の段階で意識されてなかったので後付けです。色塗りといえば、一度背景をわざわざムラのある手書き風で添えられたことがありましたが、表紙は自分の名前でクレジットされていても、『どこまで自分が描いた部分なのか』というのは見ている側にはわかりにくいものですね。

コンセプトが無いならせめて【肌の露出】を描かせてくれれば読者に見せる、描くポイントというのもわかりやすいのですけど、【構図】よりも設定優先（読者に一枚絵で伝わる設定ならまだいいんですが）、【陰影】はライトでがんがんとばしてというグラビア風なカットで、結局ただエロくない絵という方針だったのかな、と思います。

こう言うと、不自由してるなと感じるかもしれませんが、自分はこの仕事にあたって、『自分の作品』を描くことではなく『表紙という商品』を描くべきと思って引き受けたので、不自由なことは個人的には不満ではありません。取引先が満足するならそれでOKです。ただ、結果が出なければ取引先は満足しないということです。というわけで、なるべく意図を汲もうとしたもののコンセプトを見直すよりも描く人を替える方が簡単という結論になり、今度方針を打ち合わせしようって言ってくれてたまま、今回で最後、となりました。そして、ここまで書いたような、自分の表紙を見てくれていた方への説明が残されました。

他の出版社に行った時に、(表紙仕事は見たらしく)単行本の表紙の時は塗り別の人にやってもらう選択肢もあるからって言われたのは、自分がカラー苦手という前提なんだろうなと思って、それまで意識してなかったけどなんだかそれ以来カラーに苦手意識がある気がします(笑)。単行本については実際、刷り部数捌け切らなかったら迷惑が掛かるし、自分も困るので仕方ない部分だと思います。

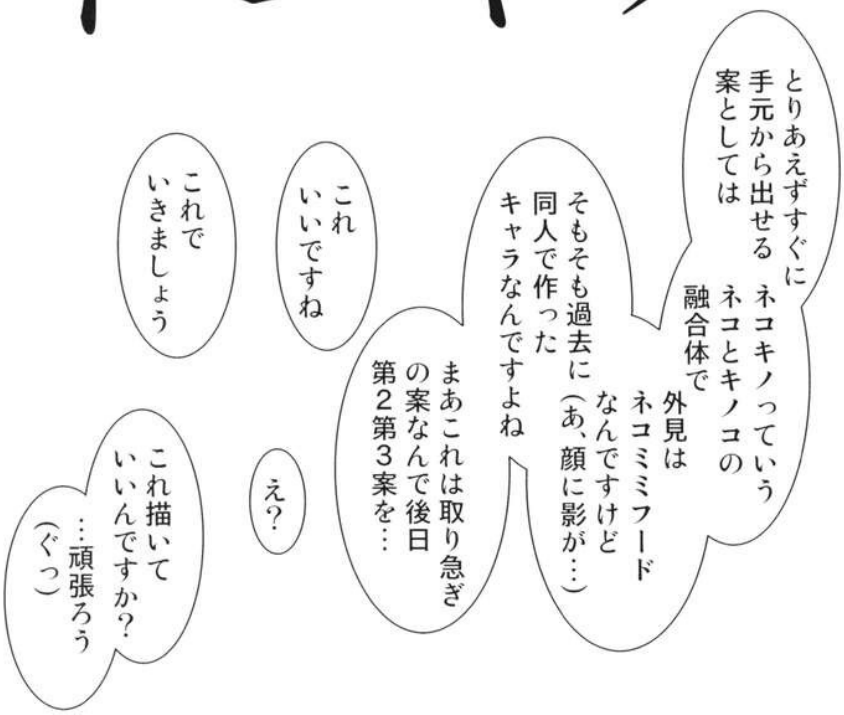
雑誌表紙とは違うからと言われてもいざ単行本表紙の段になって、実績の無い自分のために構図や設定が指定されて、また会議で決定事項なので今回はこれでと言われたときに、本出すの辞めます以外に選択肢が無い状況なんていうのは、自分にも応援してくれている方にも不幸なことだなと思います。



ネコキノのこと

アシをやってくれるという知人が見つかって、そちらに定期的に仕事を渡せるようになる、そんなタイミングで連載のお誘いを戴きました。それまでは1人で月18頁が最大でしたので、月20頁のこの連載を描きながら月によってはもう1本他社の仕事(コアマガジンやKTC等)を入れるペースというのは、アシありきの考えでした。月2本ペースに引き上げたい思いは予てよりありましたので良い機会でした。

非日常要素OK。あまりストーリーを張らずにキャラで転がすものはどうかと言われて、一先ず手元からダメ元で…



あの…
えっと…
これで…
その…
おかずに
なりますか？
かぷっ
あっ♡
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
はぁ♡
ちゅ
ぎゅっ
ちゅ
えっ
んっ♡
グレ…
グレ
くぱぁ

CHI'TA'KE チタケ(食用)

うふふ♡
いっぱい出ちゃいましたね♡
今度はそのまま私の中でシますか？

ネコキノのデザインは
サークルの同人ソフト
「森と触手のシューティング」
で、サブヒロインの1つと
して生まれたもの。
第1案はキノコの女の子を
デザインしようとしたものの、
見た目の華やかさが足りない
と一捻り加えてネコキノと
いう形態に。
この時点での衣装はレオタード状のもので、首と尻尾の
林檎は林檎の森の子猫たちに
着想があるとか無いとか。
その後、お絵描きチャットなど
でネコキノのバリエーション
が誕生して、実はアルオメは
この頃にデザインされた
キャラクターです。
「ネコキノと雨の町」で漫画に
登場させるに当たって標準形
から新たにマドカをデザイン
し直しましたが、衣装は色相を
デザインの中心としていた
初期型から、白黒でメリハリが
付くように明度を中心とした
ものにしています。
「森と触手のシューティング」
から7年、当時ネコキノを
メインにしてそのうち何か
作るかもと言ったことを
覚えてる人はいないんじゃ
ないかなと思います。
初期型もそのうちどこかで
出番あるかな？
ネコキノ初期型
プロトタイプ

ツチグリ。普段は土中に
ある菌糸と増加合体して
４倍体まで増幅可能。
これまで２倍体と３倍体を
描いたことがなかったので
描いてみました。
５倍体以降もありそう
だけど未定ということで。
T.T.-GURI
ツチグリ

デザインした時はちょっと
頭部ごちゃごちゃし過ぎた
かなと思ったのですが描き
慣れてみたら意外とデフォ
ルメ時の安定感が良くて
気に入ってます。
でも今でも耳とかお下げと
か描き忘れそうになります。

ちゅー…
ぐぐぐ…
トカン
トクン
クルクル
ん♡
ぐぐぐ…
はぁ♡
ドキン
ドキン
ぷっ
ズゅ
Alone
アルオメ

1コマ目に戻る
レロン
ぶるぶる
ぐぐぐ…っ
ドキン
ドキン
ズプ
ズプ
ズプ
ズプ
ズプ
ぐぐぐ…っ
ドキン
ドキン
ドキン
ドキン
ドキン
ドキン
ぎゅ…。

解説:
ライトクルセーダーエリカ
KTC「スレイブヒロインズ」で
不定期連載の変身ヒロイン凌辱モノ。
ネコキノのラブラブと反対に
凌辱色が強いので苦手な人には
お勧めできません。

ラゲもなんか
するニャ
わ…
私もですか？
えっと…
あの…
こんな感じで
いいですか？
RAGet
ラゲ

ネコキノ続き

自分の同人ゲームという趣味の中で生まれた突拍子も無いデザインのキャラクターが商業の分野へ受け容れられたのは素直に嬉しかったです。

さて、知人にオンラインでアシを頼んだ顛末について。

ライトクルセーダー第2話とネコキノ第1話を納得行く形の作業を受け取った後のネコキノ第2話で、預けた原稿を最終日まで延期させた上、数日前渡したままの状態で返されてしまいました。そしてその日以来、辞めるとも言わずに連絡が無くなりました。何度も会ってる間柄だったとはいえ、オンラインでの作業の難しさを痛感すると同時に、想定していれば作業の優先順位を変えて回避できたという自分の状況認識の甘さを後悔しています。

編集部の皆様、掲載作家の皆様、読者の皆様、本当にすみませんでした。

先に触れたように1人で回すには重い仕事量な上に、トーン髪とか第1話の段階での作業量を見込んだデザインにしているので、第3話以降は十分ではない時間リソースの中で作業の取捨選択を、連載の中で模索しなくてはならないような状況に陥ってしまいました。すみません。

それでも、アンケートに励まされ、あんな失態でもなお描き続けさせてもらってるんだな、と実感しています。読者の皆様ありがとうございます。

ライトクルセーダー エリカのこと

…と、ここまでの事情により今年は前半後半ともに酷くばたばたしてしまい、2回しか執筆することができませんでした。すみません。

最初連載のお話を戴いた時に隔月は難しいので不定期なら…と話したのが悪い意味で当たってしまったことになります。とはいえ、KTCでのお仕事は元々年2回ペースで依頼を戴いていたので今年極端に少なくなったわけではないのですけど。しかし改めて気づいてみるとどこにも『不定期』連載と書かれていないので読者の方には隔月予定だと思われているかもしれません。ましてや第2話の時には『連載再開』というコピーが入ってましたので、慌てて第3話の巻末コメントに自分で不定期ですって書いておきました。続き物ですし少しでも間隔短めに描きたいという意識はありますので長い目で見てもらえると有難いです。それでも続き物ならではのエロさが出てればいいなと思います。

第3話のプロットを出した時に自分と編集部で想定していた総話数が異なっていたようで、もう変身前陵辱はちょっと…って言わたので話数を伸ばしてもらいました。第3話で自ら深みに嵌る様子を描くために第2話で周囲にがっつかせたくなったわけで。でも、それにしてもこの後少し削りつつ話を進めると思います。『学校編』『街頭戦闘編』の2つが並走していますが、その2つを進めた後のもう1つ『＊＊編』まで描くのが全体構想なので。打ち切りにならなければ。

あとがき

以上、今年は色々とご迷惑ばかりお掛けして、応援してくださっている方にも説明不足が多かったので、ごめんなさいばかりになってしまいました。文章長くてごめんなさい。

まだまだ未熟で、漫画についても形を成していないものを一通り描くのにいっぱいいっぱいの状態です。楽しんでもらえるものを描ければと精進するつもりですので、暖かく見守って戴ければ幸いです。

カラーについては、今回の本で口絵付にしたかったのですが、時間の都合上断念してしまったので、また改めて描けたらと思います。フルカラー本とか出せたら素敵ですね。

というか、年内の〆切を終えてからこの本に取り掛かっているため、頁の都合が付きやすいような体裁になっています。少しでも楽しんでもらえてたら良いのですけど。そしてこれを書いてる現在既に時間一杯です。ラゲ、ラフのままになっちゃいました。

また、次回頑張りますので、その際もお目に掛かれれば幸いです。では。

NIXINAMO DAYS

2008 WINTER

奥付
発行者■アイソトニクス
発行日■2008.12.30
連絡先■http://isotonix.jp/
印刷■サンライズ

NIXINAMO:DAYS
2008Winter

for ADULT ONLY